

ちょっと驚いた話

Xiang Yang

(開智国際大学)

私が中国にいた頃、日本人の礼儀正しさは有名でした。しかし、実際に体験したことはありません。日本に来て、その礼儀正しさがどの程度なのかを感じました。

ある日、いつものようにバスで下校しました。私たちはみんな並んでバスの乗りました。そして、私は通路側の席に座りました。バスはいつものようにどこかの停留所に止まっていた。この駅から老夫婦が乗ってきました。二人は座席数の少ない車両を見て、空いている席を探すよりも立っているほうを選びました。私は通路側の席から窓側の席に移動しました。通路側の席のほうが他の人が座りやすいと思ったからです。

その時、そのおじいさんは私の行為を見て、喜んでおばあさんを座らせました。おばあさんはひどく照れくさそうに、「すみません、お願いします。本当にありがとうございます」と言い続けました。そして何度も繰り返しました。このような行動にはとても驚きました。ちょっと席を移動しただけなのに、こんなに感謝してくれました。恥ずかしかったなと思いました。そして、私が降りるときにまたおばあさんはお礼を言ってくれました。

中国ではこのようなことがあっても、「ありがとうね」の一言で感謝を表す

ことができます。しかし、日本では、他人に迷惑をかけない伝統があり、他人の好意的な行いに対して「自分のせいで、迷惑をかけてしまって、本当に申し訳ございません」という恥じらいを感じるのです。中国で聞いていた日本人の礼儀正しい行動を実際に体験し、日本人がこのような行動をする理由も理解しました。ですから、日本人の礼儀正しさには驚きました。

(664字)

(2022.10 たどくのひろば掲載)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.